

(別記)

令和2年度 瀬戸市地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

瀬戸市では、WCS用稲の栽培が定着しつつある。地域振興作物は、水田を有効活用して、露地野菜を中心に生産されている。しかし、農家の高齢化や後継者不足により、田畑の耕作放棄地化が年々進行している。

2 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

農家の高齢化や後継者不足により、年々減少傾向にあるものの、農業塾の卒業生や若手の農業者を活用し、現状維持に努める。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

産地交付金を活用し、栽培暦に準じた適正な施肥管理を行うなど生産性と品質の向上を図りつつ、畜産農家と連携し、計画生産を行う。

イ 米粉用米

取組なし

ウ 新市場開拓用米

取組なし

エ WCS用稲

産地交付金を活用し、栽培暦に準じた適正な施肥管理を行うなど生産性と品質の向上を図りつつ、畜産農家と連携し、計画生産を行う。

オ 加工用米

取組なし

カ 備蓄米

取組なし

(3) 麦、大豆、飼料作物

大豆については、産地交付金を活用し、前年度に引き続き栽培に取り組み、市内の豆腐店と連携して豆腐への加工を行う。

(4) そば、なたね

取組なし

(5) 高収益作物（園芸作物等）

産地交付金を活用し、地域特産物として力を入れている「自然薯」「山ごぼう」を振興品目として面積を拡大する。また、地産地消推進の観点から、学校給食に納入可能で露地野菜としてリスクが少ない「玉ネギ」「キャベツ」の作付面積を拡大するとともに、「ヤーコン」など新たな作物の作付を検討していく。

(6) 畑地化の推進

取組なし

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	103.86	105.00	105.00
飼料用米	0.34	0.50	0.50
米粉用米			
新市場開拓用米			
WCS用稲	1.68	2.00	2.00
加工用米			
備蓄米			
麦			
大豆	0.18	0.18	0.18
飼料作物			
そば			
なたね			
その他地域振興作物	3.90	8.00	8.00
野菜	3.90	8.00	8.00
・			
・			
・			

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	目標	
				前年度（実績）	目標値
1	飼料用米 （基幹作物）	飼料用米の生産性・ 品質向上等	栽培面積	（2019年度）0.34ha	（2020年度）0.5ha
2	WCS用稲 （基幹作物）	WCS用稲の生産 性・品質向上等	単収の向上	（2019年度） 1,530kg/10a	（2020年度） 2,000kg/10a
3	大豆 （基幹作物）	大豆の生産性・品質 向上等	単収の向上	（2019年度）20kg/10a	（2020年度）120kg/10a
4	野菜 （基幹作物）	高収益作物に対する 支援	栽培面積	（2019年度）3.90ha	（2020年度）7.1ha
5	野菜 （基幹作物）	高収益作物等拡大加 算・転換作物拡大加算	拡大栽培面積	（2019年度）－	（2020年度）0.9ha

※ 必要に応じて、面積に加え、当該取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内としてください。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり